

症例 4 那覇市立病院

Q 「乳腺症と迷いましたが鑑別のポイントを教えてください。」

A 鑑別のポイントになっているかわかりませんが、本症例に対しての鑑別のポイントを記載します。

組織学的に線維腺腫は、乳管上皮成分と間質結合組織が同時に増殖をきたした良性腫瘍病変です。細胞診でも組織像を反映した上皮成分および間質成分が出現します。

本症例の上皮細胞は核小体が目立ち、活動的な細胞ではありますが9枚目、10枚目に示した粘液腫様変化を伴った間質結合線維成分の出現は線維腺腫を推定する重要な所見と考えます。

線維腺腫のなかには乳腺症型があり、乳腺症の部分像と同じように様々な形態を示してきます。しかし、細胞診で乳腺症と診断するのは非常に難しいと思われま

す。乳腺症と迷ったということは上皮細胞をアポクリン化生細胞と判断したと思われま

すが、アポクリン化生上皮細胞は細胞境界の明瞭な平面的なシート状集塊で、細胞質内には淡褐色顆粒が認められます。8枚目の乳管上皮細胞と比較すると7枚目のシート状集塊は類似していると思われま

す。アポクリン化生細胞とするには胞体の広さや顆粒が明らかではないため乳管上皮細胞と判定し、線維腺腫を推定しました。」